小規模事業者経営動向調査支援業務について

１．調査目的

この調査は、愛知県愛西市における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

２．調査概要

（１）調査時期

令和５年８月～10 月

（２）調査対象企業

愛知県愛西市内企業 100 社

（建設業：24 社、製造業：27 社、卸売業：5 社、小売業：13 社、飲食業：10 社、サービス業：16 社、その他：5 社）

（３）各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書内に明記している DI とは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加（良化）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた数値。

数値と天気記号の関係性は下記の通りであり、天気区分は愛知県商工会連合会の基準を踏襲している。

天気区分	快晴	晴れ	雲り	小雨	雨
天気記号					
DI数値	60.1～100	20.1～60.0	△20.0～20.0	△60.0～△20.1	△100.0～△60.1

（４）その他

小数点は、小数第２位を四捨五入し、小数第１位で表示している。

令和６年１月 24 日作成
愛西市商工会
TEL：0567-24-6122

中小企業景況調査報告書（愛西市商工会概略版）

（令和５年８月～10 月実績）

１. 愛西市内における産業全体の景況

景況はいずれも悪化、今後も低調を見通すが、前回調査から回復の兆し

今月の産業全体の景況（対前月比）は、「売上 DI」が△30.3、「採算 DI」が△20.8、「資金繰り DI」が△13.5 となり、全ての項目において悪化の状況となっている。対前年比でも「売上 DI」・「採算 DI」・「資金繰り DI」いずれも 20 ポイント近いマイナスとなっており、厳しい経営環境となっている。

また今月の産業全体の景況（対前月比）を業種別でみると、建設業の「資金繰り」が横ばい、サービス業の「資金繰り DI」が良化となっているが、これらを除く全ての業種・項目で悪化となっている。

今後の見通しに関する DI も△27.8 と、来年以降も厳しい経営を見通している。

一方で、前回調査時の各指標と比較した場合、「卸売業」「飲食業」の全 DI が増加し、結果として大半の天気図で一段階以上の改善がみられた。また、「小売業」の景況の各 DI、「サービス業」「その他」以外の業種の採算 DI が前回調査を上回っている点は、プラスの要素として挙げられる。

■産業全体の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		△30.3		△20.8		△13.5
	前年		△20.2		△17.8		△17.2

■今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		△27.8

＊DI=よくなると回答した企業の割合−悪くなると回答した企業の割合

■令和４年８月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」（前回△27.8→今回△20.2）・「採算 DI」（前回△31.1→今回△17.8）・「資金繰り DI」（前回△26.1→今回△17.2）の各 DI で前回調査を上回っており、特に「採算 DI」は 10 ポイント以上増加している。
- 今後の見通しに関する DI は、前回調査の△26.8 に対し△27.8 で 1.0 ポイントの悪化となっており、今後の景況感への深刻さが継続している。

２．業種別景況感

（１）建設業

前年比較で「売上」は良化となるも、大半の項目と今後の見通しは低調

今月の建設業の景況は、対前月比で「売上 DI」が△13.0、「採算 DI」が△12.5、「資金繰り DI」が 0.0。「売上 DI」・「採算 DI」でマイナスとなっているものの、調査対象業種のなかでは比較的悪化の幅は小さい。

対前年比では「採算 DI」が△4.3、「資金繰り DI」が△12.5 となるものの、「売上 DI」が 16.7 でプラスとなっている。

今後の見通しに関する DI は△13.0 と、他の業種と比べて悪化の幅は小さいものの引き続き低調な状況が続くことが想定される。

■建設業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月	↘	△13.0	↘	△12.5	→	0.0
	前年	↗	16.7	↘	△4.3	↘	△12.5

■今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し	↘	△13.0

＊DI=よくなると回答した企業の割合−悪くなると回答した企業の割合

■建設業のコメント

・ 記載事項なし

■令和 4 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

・ 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「資金繰り DI」（前回△11.1→今回△12.5）は 1.4 ポイント減となっているものの、「売上 DI」（前回△11.1→今回 16.7）は 27.8 ポイント増、「採算 DI」（前回△10.7→今回△4.3）は 6.4 ポイント増で改善の傾向にある。

・ 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査が△3.7 であったのに対し△13.0 と 9.3 ポイント減となっており、今後の景況感は引き続き低迷が想定される。

（２）製造業

全項目低調で特に「売上」の悪化が顕著、今後も低調を見通す

今月の製造業の景況は、対前月比で「売上 DI」が△44.4、「採算 DI」が△32.0、「資金繰り DI」が△24.0 で、全ての項目においてマイナスとなっている。
対前年比においても、「売上 DI」が△61.5、「採算 DI」が△33.3、「資金繰り DI」が△25.0 と全ての項目においてマイナスであり、特に売上面の低迷が顕著となっている。

今後の見通しに関する DI は△26.9 となっていることから、引き続き低調な状況が続くことが想定される。

■製造業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		△44.4		△32.0		△24.0
	前年		△61.5		△33.3		△25.0

■製造業の今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		△26.9

＊DI=よくなると回答した企業の割合−悪くなると回答した企業の割合

■製造業のコメント

・ 記載事項なし

■令和 4 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

・ 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」（前回△47.4→今回△61.5）は 14.1 ポイント減、「資金繰り DI」（前回△21.1→今回△25.0）は 3.9 ポイント減と悪化しているものの、「採算 DI」（前回△47.4→今回△33.3）は 14.1 ポイント増で改善の傾向にある。
・ 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査が△36.8 であったのに対し△26.9 と 9.9 ポイント増となっているが、今後の景況感は引き続き低迷が想定される。

（３）卸売業

厳しい状況にあり見通しも深刻だが、いずれの指標も前回調査を上回る

今月の卸売業の景況は対前月比で「売上 DI」・「採算 DI」・「資金繰り DI」いずれも△20.0 で、全ての項目においてマイナスとなっている。
また、対前年比でも「売上 DI」・「採算 DI」・「資金繰り DI」が△40.0 と全ての項目において大幅なマイナスとなるなど、深刻な経営環境にある。
今後の見通しに関する DI についても△50.0 となっていることから、引き続き低調な状況が続くことが想定される。
なお、対象企業数は 5 社と少ないことに留意が必要。

■卸売業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		△20.0		△20.0		△20.0
	前年		△40.0		△40.0		△40.0

■卸売業の今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		△50.0

＊DI=よくなると回答した企業の割合−悪くなると回答した企業の割合

■卸売業のコメント

・ 記載事項なし

■令和 4 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

・ 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」（前回△75.0→今回△40.0）は 35.0 ポイント増、「採算 DI」（前回△100.0→今回△40.0）は 60.0 ポイント増、「資金繰り DI」（前回△50.0→今回△40.0）は 10.0 ポイント増と改善の傾向が見られる。
・ 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査が△83.3 であったのに対し△50. 0 と 33.3 ポイント増。今後の景況感は前年度より改善の傾向であるが、まだ厳しい状況が続くことが想定される。

（４）小売業

いずれの指標も低調、見通しも深刻であるが、

前回調査から景況 DI で改善の動き

今月の小売業の景況は対前月比で「売上 DI」が△30.8、「採算 DI」が△7.7、「資金繰り DI」が△25.0 で、全ての項目において悪化となっている。
また、対前年比でも「売上 DI」が△33.3、「採算 DI」が△8.3、「資金繰り DI」が△27.3 と全ての項目においてマイナスとなっており、厳しい経営環境にある。

今後の見通しに関する DI についても△53.8 と、調査対象業種中最も悪い結果となっており、今後も厳しい状況が続くことが想定される。

各指標から厳しい状況ではあることが伺えるものの、前回調査時から景況の DI で改善の傾向が見られた。

■小売業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		△30.8		△7.7		△25.0
	前年		△33.3		△8.3		△27.3

■小売業の今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		△53.8

＊DI=よくなると回答した企業の割合−悪くなると回答した企業の割合

■小売業のコメント

・ 記載事項なし

■令和 4 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

・ 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」（前回△40.0→今回△33.3）は 6.7 ポイント増、「採算 DI」（前回△60.0→今回△8.3）は 51.7 ポイント増、「資金繰り DI」（前回△53.3→今回△27.3）は 26.0 ポイント増でいずれの DI も改善の傾向にある。
・ 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査の△53.3 と厳しい結果だったのに対し△53.8 と 0.5 ポイント減となっており、今後の景況感は引き続き低迷が想定される。

（５）飲食業

前年比較の「売上」以外は低調だが、すべての指標の数値が前回調査より増加

今月の飲食業の景況は対前月比で「売上 DI」が△10.0、「採算 DI」が△20.0、「資金繰り DI」が△30.0 で、全ての項目においてマイナスとなっている。
対前年比では「採算 DI」は△12.5、「資金繰り DI」が△11.1 となるものの、「売上 DI」は 25.0 でプラスとなっている。

今後の見通しに関する DI については△10.0 と、他の業種に比べて悪化の幅は小さいものの引き続き低調な状況が続くことが想定される。

一方で、前回調査時から各指標の DI が大きく増加し、回復の兆しが見える結果となった。

■飲食業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		△10.0		△20.0		△30.0
	前年		25.0		△12.5		△11.1

■飲食業の今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		△10.0

＊DI=よくなると回答した企業の割合−悪くなると回答した企業の割合

■飲食業のコメント

・ 記載事項なし

■令和 4 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

・ 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」（前回△20.0→今回 25.0）は 45.0 ポイント増、「採算 DI」（前回△30.0→今回△12.5）は 17.5 ポイント増、「資金繰り DI」（前回△33.3→今回△11.1）は 22.2 ポイント増と、いずれの DI 値も改善の傾向が見られる。
・ 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査が△40.0 であったのに対し△10.0 で 30.0 ポイント増となっており、今後の景況感は水面下ながらも改善が想定される。

（６）サービス業

前月比較で「資金繰り」は良化となるも、前年比較全項目と今後の見通しは低調

今月のサービス業の景況は対前月比で「売上 DI」が△43.8、「採算 DI」が△26.7 とマイナスであるが、「資金繰り DI」は 6.3 で良化となっている。
対前年比では「売上 DI」が△20.0、「採算 DI」が△21.4、「資金繰り DI」が△6.7 と全ての項目においてマイナスとなっている。
今後の見通しに関する DI についても△37.5 となっていることから、引き続き低調な状況が続くことが想定される。

■サービス業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月	↘	△43.8	↘	△26.7	↗	6.3
	前年	↘	△20.0	↘	△21.4	↘	△6.7

■サービス業の今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し	↘	△37.5

＊DI=よくなると回答した企業の割合−悪くなると回答した企業の割合

■サービス業のコメント

・ 記載事項なし

■令和 4 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

・ 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」（前回△8.3→今回△20.0）は 11.7 ポイント減、「採算 DI」（前回△8.3→今回△21.4）は 13.1 ポイント減で悪化しているものの、「資金繰り DI」（前回△27.3→今回△6.7）は 20.6 ポイント増で改善の傾向にある。
・ 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査が△6.3 であったのに対し△37.5 と 31.2 ポイントの減少となっており、今後の景況感は引き続き低迷が想定される。

（７）その他

前月比較でみるといずれの項目も悪化し、今後の見通しも低調

今月のその他の景況は対前月比で「売上 DI」が△40.0、「採算 DI」が△25.0、「資金繰り DI」が△20.0 で、全ての項目においてマイナスとなっている。
対前年比では「売上 DI」・「採算 DI」・「資金繰り DI」いずれも 0.0 となっている。
今後の見通しに関する DI は△20.0 となっていることから、引き続き低調な状況が続くことが想定される。
なお、対象企業数は 5 社と少ないことに留意が必要。

■その他の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		△40.0		△25.0		△20.0
	前年		0.0		0.0		0.0

■その他の今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		△20.0

＊DI=よくなると回答した企業の割合−悪くなると回答した企業の割合

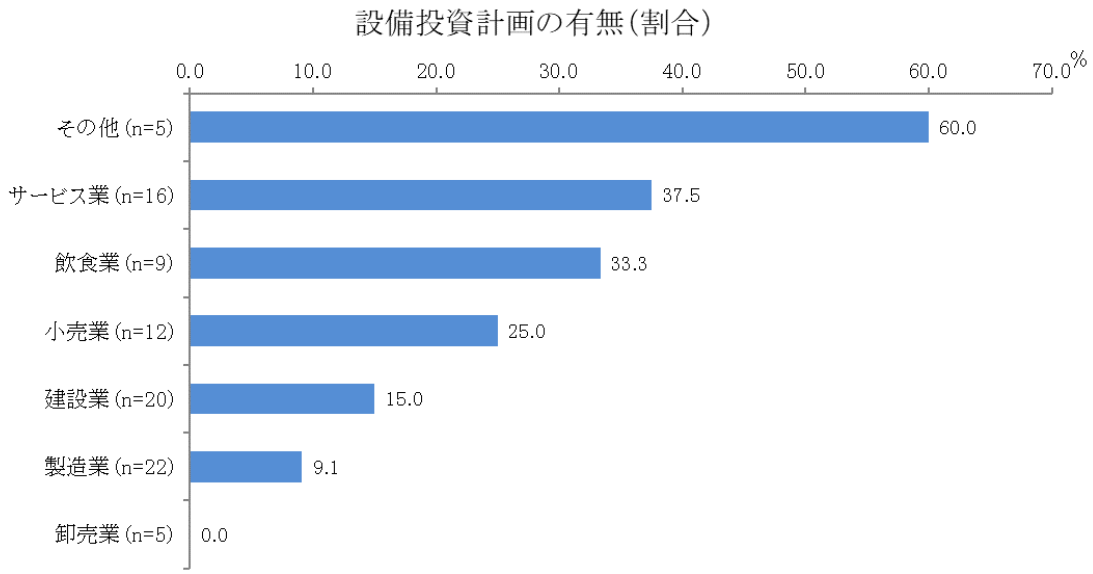
■その他のコメント

・　記載事項なし

■令和 4 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

・　「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「採算 DI」（前回 0.0→今回 0.0）、「資金繰り DI」（前回 0.0→今回 0.0）はともに変動がないが、「売上 DI」（前回△33.3→今回 0.0）は 33.3 ポイント増化している。
・　今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査が 0.0 であったのに対し△20.0 と 20.0 ポイント減で、今後の景況感も引き続き低迷が想定される。

３．設備投資の計画



４．経営上の問題

業種	順位	経営上の問題点	割合*
建設業	1	人材確保・育成	58.3%
	2	外注先・仕入先・協力企業の確保	50.0%
	2	原材料・仕入価格の高騰	50.0%
製造業	1	原材料・仕入価格の高騰	55.6%
	2	設備の老朽化	51.9%
	3	販路の確保・開拓	25.9%
	3	人材確保・育成	25.9%
卸売業*	1	原材料・仕入価格の高騰	80.0%
小売業	1	原材料・仕入価格の高騰	61.5%
	2	設備の老朽化	46.2%
	3	資金繰り	38.5%
	3	人材確保・育成	38.5%
	3	同業者との競争激化	38.5%
飲食業	1	人件費増加	60.0%
	1	原材料・仕入価格の高騰	60.0%
	3	資金繰り	40.0%
サービス業	1	販路の確保・開拓	37.5%
	1	設備の老朽化	37.5%
	3	同業者との競争激化	31.3%
	3	人件費増加	31.3%
	3	原材料・仕入価格の高騰	31.3%
その他*	1	人材確保・育成	60.0%

＊割合=選択企業数/業種ごとの企業数
＊10件未満は件数の1番多い項目のみを掲載